

TEAM MYODEN



市川市立妙典中学校 令和3年度生徒指導だより第11号 12月20日

教育目標：未来を拓く妙典中生徒<明るく・正しく・美しく>

目指す生徒：◎ふれあいを大切にする生徒 ◎進んで学ぶ生徒 ◎頑張りぬく生徒

◎年末年始、お手伝いをしましょう

みなさんは、普段から家のお手伝いをしているでしょうか。また、自分に与えられている家での役割（お風呂掃除、食器洗いなど）はありますか？



さて、お手伝いには多くの効果が期待できることが報告されています。具体的には、

- ① 生活体験を積むことができる（本物の学力である『生きる力』が養われる）
 - ② 体力の向上（自然に体を動かすことで筋力がつく）
 - ③ 家族への帰属意識が芽生える（家族の一員である自覚が出る）
 - ④ 自己肯定感が高まる（自己肯定感とは自分自身を価値のある存在として肯定できる感情）
 - ⑤ 時間の感覚が身につく（24時間をコントロールする力）
 - ⑥ 自尊感情や外向性、精神的な回復力といった項目の得点が高くなる傾向にある
- （文部科学省が2021年9月8日に発表した調査結果より）

などです。

また、⑤時間の感覚を身につけることは、自然と生活習慣を身につけることにもつながります。2018年に文科省が公表した「平成29年度全国学力・学習状況調査」によると、「毎日朝食を食べる」「新聞や本を読む」「計画的に勉強をする」といった生活習慣をきちんと身につけている子どもは、学力が高い傾向にあることがわかっています。

年末年始には、すす払い（大掃除）、お正月といった年中行事があります。自分で仕事を探したり、家の人に仕事はないかを聞き、積極的にお手伝いをしてほしいと思います。

◎お年玉の使い方

お正月と言えば、「お年玉」の話題が出てくるものです。あるアンケート調査ではお年玉の使い道は、

- ①貯金する、②自分のために使う、③とにかく使う

などが多いようです。

②についてですが、ひと言で「自分のため」といっても、

- A 将来の自分のために使う
B 今の自分のために使う

の2通りがあるようです。



A 将来の自分のために使う

「自分を大きく育てるために使う」と言いかえることもできます。

具体的には、「読書・スポーツ・音楽・パソコンなどの趣味に使う」「学校の勉強に必要なものを買う」などです。

B 今の自分のために使う

(a)「今の自分自身や自分の身の回りを美しく、快適にする」言いかえれば、「気持ちよく暮らす」ために使う。具体的には、「洋服を買う、部屋の飾り物を買う」などです。

(b)「今の自分を興奮させ、楽しむ」言いかえれば、「おもしろく暮らす」ために使う。具体的には、「ゲームに使う」「キャラクター商品やお菓子を買う」などです。

今年もらったお年玉を自分のために使った人、その使い方はAでしたか、Bでしたか？
Bだった人はさらに(a)・(b)のどちらでしたか？

しかし、自分のためにではなく、大切な人のためにお年玉を使う中学生もいるようです。

「自分にとって大切な人のために使う」

これについて考えてみましょう。お年玉の使用目的が自分自身でなく、自分以外の人にあるのが、この使い方です。

具体的には、お父さん・お母さんやおじいさん・おばあさんの誕生日プレゼントを買う。お母さんに装飾品（そうじょくひん）を買ってあげる、などの行動になります。

お年玉の使い方がこれにあてはまった人は、とても心のやさしい人だと思います。自分のためにではなく、他人を喜ばせるために、お年玉を使うのですから。

また、目的が自分の外にあるため、同じ目的をもつ人と力を合わせて目的を果たそうということも起こります。具体的には、兄弟でお金を出し合って、家族へのプレゼントを買う、などです。これは大人のような行動です。

「自分にとって大切な人」は「家族」が大部分のようですが、やがて大きくなるにつれ、「恋人」や「夫や妻」や「子ども」が「大切な人」の中に加わってくるのでしょう。

この使い方は少数派ですが、中学生としては、大変立派な使い方であると思います。中学生くらいになると当然分かっているとは思いますが、自分たちがお年玉としてもらった分、お家の人やきちんと陰で同じ金額相当のもの（お年玉であったり、プレゼントであったり…）を返しているんですね。そのことを考えると、ちょっとは家族のために使ってあげるのが大人として成長した証の「感謝の心」というものだと考えるのですが、みなさんはどう思いますか。



13日間の冬休み ～以下のことに気を付けて元気に過ごしましょう～

- ・交通安全に十分注意しましょう。特に自転車の運転には細心の注意を払いましょう。
- ・早寝、早起きが健康の基本です。また、手洗い、うがいを徹底しましょう。
- ・不審者がいたらすぐにその場を離れましょう。必要に応じて交番にも連絡しましょう。
- ・身の周りの危険区域に入らないようにしましょう。特に池や川などは大変危険です。
- ・ゲームセンターやイベント等の出入りに十分注意しましょう。
- ・悩みがあれば身近な人に話したり相談窓口を活用しましょう。悩み事は絶対に一人で抱えないようにしましょう。

